

1 水環境における放射性物質の常時監視

(1) 全国の放射性物質モニタリング

水質汚濁防止法の規定に基づき、一般環境中の放射性物質の存在状況を把握することを目的に、全ての都道府県の公共用水域(河川、湖沼)及び地下水を対象に、高感度(検出下限目標値:0.01-0.001Bq/L)で放射性物質モニタリングを実施。

(2) 福島県及び周辺地域の放射性物質モニタリング

「総合モニタリング計画」(モニタリング調整会議)に基づき、2011年から福島県及びその近隣8都県の公共用水域(河川、湖沼、沿岸)及び地下水を対象に放射性物質のモニタリングを実施。

(1) 全国の放射性物質モニタリング			(2) 福島県及び周辺地域の放射性物質モニタリング(震災対応モニタリング)			
全国 ・公共用水域 (河川、湖沼)	(ローリング) 110地点 年55測点	セシウム、 ストロンチウム、 他複数核種	① 公共用水域放射性物質モニタリング	福島県、近隣8都県 ・河川、湖沼、沿岸の水質、底質	約600地点 年2～10回	セシウム、 ストロンチウム、 他
全国 ・地下水	(定点) 49地点 (ローリング) 299地点 年110測点		② 地下水の放射性物質モニタリング	福島県、宮城県、茨城県、栃木県 ・井戸等の水質	約200地点 年1回	
			③ 水生生物の放射性物質モニタリング	福島県、宮城県 ・河川、湖沼、沿岸の水生生物、 水質、底質	13測点 年3回	
			④ 東日本大震災における海洋環境モニタリング	福島県沖、宮城県沖、岩手県沖 ・底質	15測点 年1回	セシウム

2 ALPS処理水に係る海域モニタリング

「総合モニタリング計画」に基づき、2022年度から実施。

東日本大震災被災地における環境モニタリング調査の一つではあるが、他の事業とは実施体制が異なる。

ALPS処理水に係る海域モニタリング

福島県沖、宮城県沖、茨城県沖 ・海水、水生生物	年4回、等	トリチウム、他
----------------------------	-------	---------